

資料 8 - 1

委員提案事業

県内大学等連携研究推進事業

総務部大学私学課

○事業概要

県内の大学、短期大学、高等専門学校が連携して取り組む
地域課題の解決に資する研究の経費を助成

研究課題 原子力技術、ふくいブランド創出、まちづくり、
バイオ・六次産業化、国際・地域、看護福祉

補助額 1研究あたり300万円

研究期間 2年間まで

○経緯

H19 事業開始

○成果

研究テーマ：体力全国トップの要因に関する定量的研究
内 容：朝食摂取や睡眠などの生活習慣、業間体育など
の学校教育が関係することを定量的に示した

研究者：福井大、県立大、福井工大、仁愛大の教員

研究テーマ：放射線看護人材育成プログラムの構築
内 容：災害や看護現場での放射線に関する教育ニーズや
先進地調査を実施
現在、県内看護系大学での共同カリキュラム化を
検討中

研究者：福井大、県立大、敦賀市立看護大の教員

○今後の方向性

これまでは、教員同士や産業界等と連携した研究に対する支援
であったが、今後は「ふくいアカデミックアライアンス (FAA)」
と連携しながら、人材の県内定着を図るため、学生と教員が共同
で県内企業や地域の課題解決に取り組む研究への支援を検討したい

| | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) |
|-----|-------------|-------------|
| H27 | 17,277 | 11,791 |
| H28 | 17,267 | 11,578 |
| H29 | 16,363 | 14,008 |
| H30 | 14,649 | 13,019 |
| H31 | 6,600 | — |

| | 採択件数 (新規+継続) | 連携大学一覧 |
|-----|-----------------|-------------------------------|
| H27 | 7件 | 福井大、県立大、福井工大 |
| H28 | 8件 | 福井大、県立大、福井工大 仁愛大、仁愛女子短大、高専 |
| H29 | 10件 | 福井大、県立大、福井工大 |
| H30 | 9件 | 福井大、県立大、福井工大 仁愛大、敦賀看護大、高専 |
| H31 | 4件 | 福井大、福井工大 |

ふるさと人材育成支援事業

○事業概要

私立高校生の県内就職・進学を促し、県内定着を促進
(県内就職者数、県内進学者数に応じて私立高校へ補助)

○経緯

H27 事業開始

○成果

県内定着者数は制度導入前と比較すると、平成27年度～29年度で増加している

県内定着率は、常に4割～5割程度を維持しており、私立高校生の県内定着に貢献している

総務部大学私学課

| | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) |
|-----|-------------|-------------|
| H27 | 40,000 | 39,800 |
| H28 | 50,000 | 44,300 |
| H29 | 50,000 | 43,300 |
| H30 | 50,000 | 39,100 |
| H31 | 50,000 | — |

現状データ

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 卒業者数 A | 1,856 | 1,993 | 2,131 | 2,043 | 1,965 |
| 県内就職者数 B | 342 | 368 | 350 | 280 | 324 |
| 県内大学等進学者数 C | 573 | 715 | 627 | 659 | 550 |
| 県内定着者数 B+C | 915 | 1,083 | 977 | 939 | 874 |
| 県内定着率 B+C/A | 49.3% | 54.3% | 45.8% | 46.0% | 44.5% |



授業風景

○今後の対応

県内就職者数および県内大学等進学者数を伸ばすため、効果的な施策を検討したい

県都デザイン戦略推進支援事業

○事業概要

次の時代に受け継ぐ県都のまちづくりに向けて、県と福井市が策定（平成25年3月）した県都デザイン戦略に基づき、福井市が行う城址周辺道路整備事業に対し補助

山里口御門、「福の井」および中央公園から養浩館庭園や福井市郷土歴史博物館への回遊性向上を図る

補助率 国5/10、県2.5/10、市2.5/10
 事業期間 平成31年度～令和3年度
 令和元年度事業費 13,000千円
 （国6,500千円、県3,250千円、市3,250千円）

山里口御門・福の井利活用推進事業

○事業概要

福井城址イベントの開催などにより、県都デザイン戦略に基づき復元した山里口御門や福の井の利活用を推進

山里口御門内における福井城の歴史講座、福の井における水汲み体験等を実施

令和元年度事業費 3,866千円

○山里口御門復元整備

事業期間 平成25～29年度
 整備費用 8.2億円

福井駅西口市街地再開発支援事業

○事業概要

福井駅前電車通り北地区および福井駅前南通り地区の市街地再開発について、福井市が行う再開発準備組合に対する補助を支援

補助率 国1/3、県1/6、市1/6、組合1/3
 令和元年度事業費 311,334千円
 （国103,778千円、県51,889千円、市51,889千円、組合103,778千円）

地域戦略部交通まちづくり課
 土木部都市計画課

○経緯

平成24年度 県と市が県都デザイン戦略を策定

平成25～29年度 福井市の中央公園再整備事業、県庁線整備事業、城址周辺道路整備事業（南側）に対し、補助

平成31年度～ 城址周辺道路整備事業（北側）に対し、補助

○現状データ

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 合計 |
|------------------|-------------------|--------|---------------------|--------|
| 山里口御門入館者数 (人) | 1,372 (3月24日～) | 52,180 | 32,964 (～10月13日) | 86,516 |

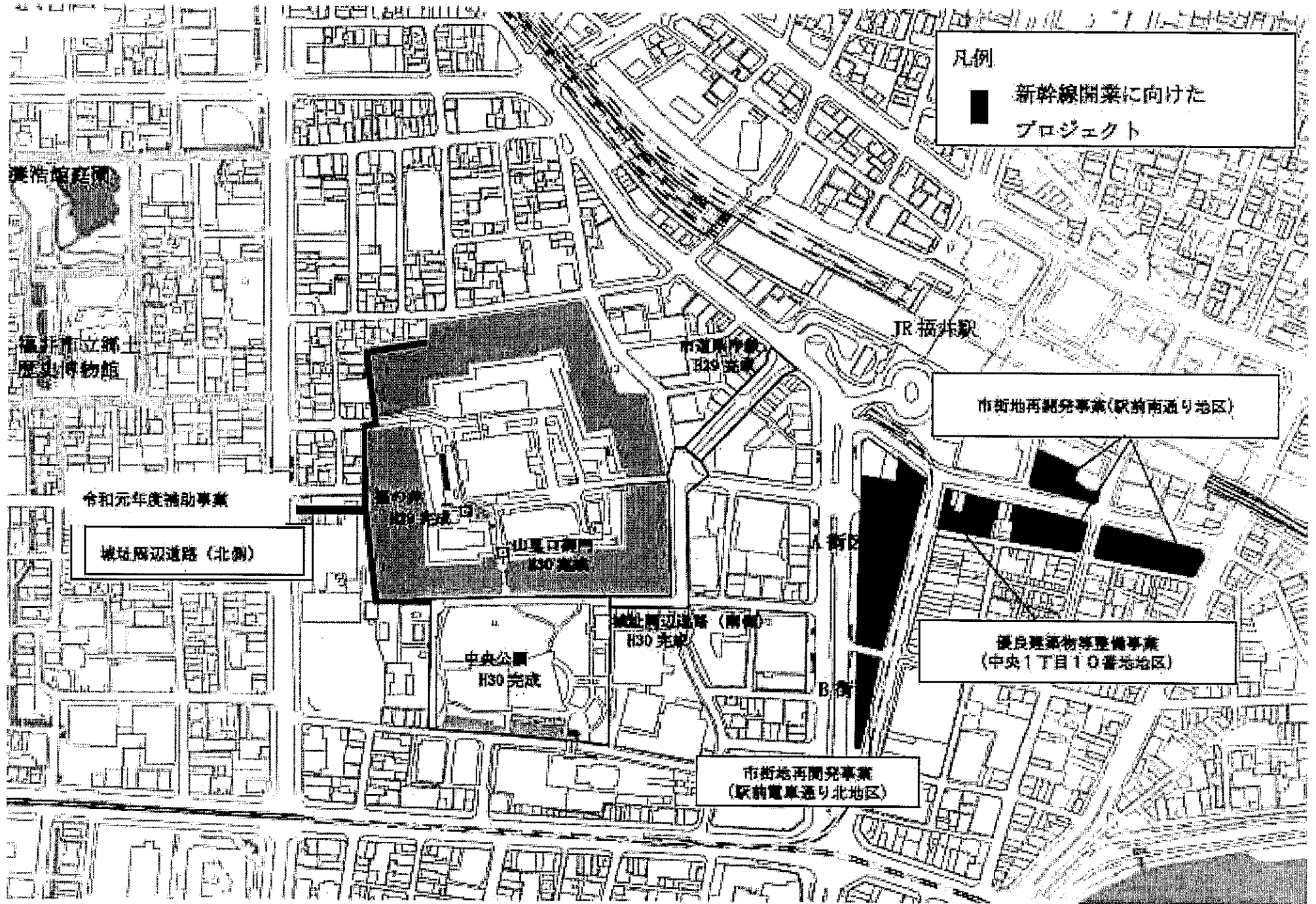


○経緯

平成29～30年度 駅前電車通り北地区 基本計画作成
 平成30年度 駅前南通り地区 基本計画作成
 令和元年度 駅前電車通り北地区 事業計画作成予定
 駅前南通り地区 推進計画作成予定

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|---------|---------|----------|
| 事業費(千円) | 21,000 | 16,500 | 311,334 |
| (うち県費) | (3,500) | (2,750) | (51,889) |

福井駅周辺の主な取組み



がんばる県民共働グループ応援事業

地域戦略部県民活躍課

○事業概要

交流人口の拡大を目的として、地域の団体（NPO、任意団体）が新たに実施する地域資源を活かした交流イベント等の取り組みを支援する。

- ・実施主体 県内に本拠のあるNPO法人、任意団体等
- ・対象事業 地域外の方を呼び込み、地域の良さや伝統行事などを題材に地域住民と地域外の方との交流を行う事業（ただし、新規に行う事業もしくは新たな取り組みを加えた事業に限る）
- ・支援額 継続交流枠 上限40万円×1団体程度（1／2補助）
通常枠 上限10万円×6団体程度（1／2補助）

| | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) |
|-----|-------------|-------------|
| H28 | 1,592 | 632 |
| H29 | 1,592 | 1,062 |
| H30 | 1,533 | 1,135 |
| R1 | 1,020 | — |

○経緯

R元 支援枠の変更（従前30万円×5団体程度からの変更）

○現状

毎年採択枠を上回る応募をいただくなど地域団体のニーズも高く、実施地域における交流の拡大にもつながっている

データ

| | H28 | H29 | H30 | R1 | 合計 |
|------------|------|------|-------|------------|--------|
| 採択団体数（採択枠） | 5(5) | 6(5) | 6(5) | 7(7) | 24(22) |
| 交流人口（人） | 281 | 262 | 3,113 | 360 ※見込 | 4,016 |

※H30年度は、鯖江市河和田地区でのうるしの里中道アート（2,050人参加）など地域の賑わい創出イベントと連携して実施する内容が多かったため、交流人口が例年より多くなっている。

H30.9.16うるしの里中道アート
神社駆け上がりイベント
かわだ福男福女（鯖江市河和田）



H30.8.4～5 伝統的町屋の雪囲い制作体験
（南越前町今庄）



結婚支援事業

地域戦略部県民活躍課

○事業概要

結婚を希望する県民の出会いと結婚を応援するため、地域や職域のつながりを活かした縁結び活動を展開

- ・お見合いの支援
結婚相談員（約180名）による定例相談の実施
「地域の縁結びさん」（約290名）によるお相手紹介や交流会の開催
- ・出会いの機会の創出
従業員の出会いと結婚を応援する「ふくい結婚応援企業」（約350社）の登録
「企業間交流婚シェルジュ」による従業員同士の交流活性化
婚活応援ポータルサイト「ふくい婚活カフェ」によるイベント情報等の発信
- ・結婚応援の機運醸成
夫婦やカップルのお出かけを応援するハッピー・デート協賛店の登録

○経緯

- ・少子化対策事業として、全国に先駆けて平成6年度から事業開始。
事業をきっかけとする成婚数は、今年度、累計1,500件に到達。
- ・独身者の74%が結婚を希望しているが、独身でいる理由として男女とも約半数が「まだ適当な相手にめぐり合っていない」と回答
(H30県結婚・子育てに関するニーズ調査)

○現状

福井県の50歳時未婚率（出典：H27国勢調査）
男性19.19%（全国3位）女性8.66%（全国1位）※割合が低い方からの順位

| データ | H28 | H29 | H30 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 事業をきっかけとする成婚数 | 101 | 133 | 163 |
| お見合い実施件数 | 2,156 | 2,249 | 2,341 |
| 企業間交流参加人数 | 735 | 1,083 | 2,319 |

| | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) |
|-----|-------------|-------------|
| H29 | 39,452 | 25,309 |
| H30 | 38,612 | 23,042 |
| R1 | 24,495 | — |

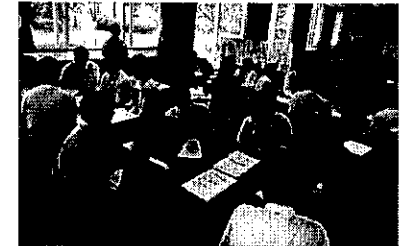
〔地域の縁結びさん〕

- ・地区の民生委員の方々やお寺の住職、理美容業やブライダル関連業の方々がボランティアとして活躍中。
- ・協力してお相手を探しご紹介、お見合いの設定などを行うほか、イベント等を開催する有志のグループも活動。



〔ふくい結婚応援企業〕

- ・企業内の担当者「職場の縁結びさん」が従業員の出会いをサポート。サポートの注意点等を学ぶ研修も開催。
- ・企業間交流婚シェルジュによる交流会の開催サポートのほか、従業員向け婚活イベントも開催。



〔婚活応援ポータルサイト「ふくい婚活カフェ」〕

- ・県の結婚支援事業のほか、県内で開催される婚活イベント（年間300件以上）を情報発信。
- ・1日約2,100件のページビュー。



県外若者へのふくい体験プログラム提供事業

地域戦略部県民活躍課

○事業概要

福井県との継続的なつながりを持つ若者を増やすことで将来的な福井県への移住のきっかけをつくるため、都市部の大学生等を対象に、市町が地域資源を生かして実施する体験プログラム等に対する支援を実施

実施主体：市町

補助率：補助率1/2

補助上限：継続来県プログラム 1,000千円

UIターン体験プログラム 150千円

○課題

- ・参加した若者はプログラム体験を通して、滞在した地域に愛着をもつが、短期的には成果が表れにくく、移住までには継続的な取り組みが必要である
- ・都市部から招聘するための市町の負担（交通費や滞在費、研究費および受入地域の準備・調整作業）が継続的に必要である

○意見を求めたいこと

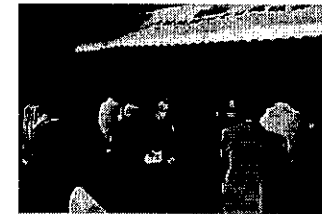
Iターンの実現に至るためには、学生に体験的に福井に来てもらうだけでは難しい。県外の学生と地域をつなぎ、学生の自主的な地域活動を応援するキーパーソンが必要である。

また、学生が普段の活動拠点と福井県を行ったり来たりしながら関わりを深めていく必要があると考えるが、今後の事業の在り方について、ご意見をいただきたい

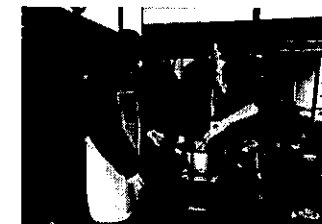
| | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) |
|-----|-------------|-------------|
| H30 | 2,600 | 2,069 |
| R1 | 2,600 | - |

| 現状データ | H30 | R1 | 合計 |
|----------|-------|---------------|--------|
| 採択数(採択枠) | 5(6) | 5(6) | 10(12) |
| 交付額(千円) | 2,069 | 1,717 (見込) | 3,786 |
| 参加学生数 | 107 | 90 (見込) | 197 |

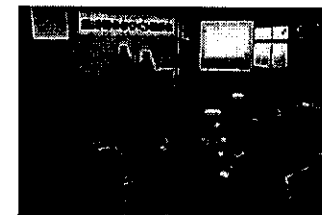
【H30若狭町の例】
地域住民とともに賑わいづくりイベントの企画・運営、地域資源の活用案の検討・提言
参加学生：24人



《6～10月》イベント企画運営



《11～2月》特産品生産体験



《3月》報告・提言

【H30おおい町の例】
町の観光および移住PRのパンフレット等広報素材を学生視点で取材・制作
参加学生：13人



《7～9月》関係者打合・ヒアリング



《10～1月》取材・撮影



《3月》パンフ完成報告・発表

Uターン学生就職活動応援事業

交流文化部定住交流課

○事業概要

- ①県内で開催する合同企業説明会（6月）、合同企業面接会（3月）へ参加する県外の新卒予定者を対象にUターンバスの運行
（名古屋→福井、新大阪→京都→福井）
- ②県内開催の合同企業説明会等に参加する交通費を補助（※）
補助額 1/2（最大14千円）
（※）Uターンバス利用者を除く

○経緯

- H28 交通費助成を開始
R元 東京便を廃止、大阪便・京都便を統合

○課題

Uターンバスの利用率が低い（H30 Uターンバス利用対象者1,823人）

○意見を求めたいこと

6月補正において個別の交通費補助を拡充しており、Uターンバスについては廃止の方向で検討しているが、ご意見をいただきたい

| | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) |
|-----|-------------|-------------|
| H27 | 1,692 | 1,692 |
| H28 | 7,398 | 4,989 |
| H29 | 7,564 | 4,771 |
| H30 | 4,768 | 4,601 |
| H31 | 3,910 | — |

Uターンバスおよび交通費補助の利用実績

| | | H27 | H28 | H29 | H30 | 合計 |
|--------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| Uターンバス | 利用者数 (人) | 90 | 96 | 59 | 66 | 311 |
| | 補助額 (千円) | — | 202 | 170 | 534 | 906 |



合同企業説明会
の様子

